

# 予防接種を受けたあとの注意点

- ① 予防接種後、30分間程度は接種した医療機関でお子さんの体調に何も変わりがないことを確認してから帰宅しましょう。まれに接種直後に副反応が起きることがあります。
- ② 接種後、副反応が起こることがあります。不活化ワクチンでは接種後1週間、生ワクチンでは接種後4週間程度は注意しましょう。
- ③ 接種した部位はこすらないようにしてください。
- ④ 接種後は、激しい運動は避けましょう。
- ⑤ 接種後、何か気になる症状があった場合は、まずは接種した医療機関の医師にご相談ください。



## 副反応が起こった場合

- ワクチンの接種により、副反応（副作用）が起きることがありますが、多くは、一時的に発熱したり、接種した部分が腫れるといった、比較的軽く、短期間で治るものです。
- ごくまれに、重いアレルギーなど、重症の副反応が起きることがあります。

### 予防接種健康被害救済制度

予防接種によって健康被害が生じ、医療機関での治療が必要になったり、障害が残ったりした場合に、その健康被害が予防接種によるものであると厚生労働省が認定した時は、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。

必要な手続きについては、健康課にお問い合わせください。